

令和5年度 第2回 亀玉小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和5年6月27日（火） 13時30分から16時00分まで
- 2 開催場所 亀玉小学校 会議室
- 3 出席委員 太田 富次郎、渡邊 剛一、伊藤 順子、平野 和江、森田 智佳、鈴木 歩、竹内 陽介
- 4 欠席委員 なし
- 5 学 校 西川 正師（校長）、村田 昌士（教頭）、阿部 泰幸（教務・CS担当）、町田 和代（学校支援コーディネーター）、村瀬 美恵子（CSディレクター）
佐々木 晴子、小野 弘太郎、今井 忍、本間 由美子、中野 典子、原田 満、西尾 美緒（学年主任）
- 6 オブザーバー 北野谷 富子（地元有識者）、椛 通安（亀玉協働センター職員）
- 7 傍聴者 なし
- 8 協議事項
(1) 授業参観 13:35~14:05
(2) 熟 議 14:20~15:50 議長：渡邊委員
①授業参観から
②「スタート」ステージの検証と今後の取組
③児童の様子との報告と今後の地域との連携についての検討
- 9 会議録作成者 CSディレクター 村瀬 美恵子
- 10 会 議 記 録 14:05~14:20

本協議会は、全委員の出席により開催できる。

太田会長の挨拶は、午前中に開催されたコミュニティ・スクール研修会の報告。学校運営協議会は、学校づくり・地域づくりに資すること等の内容だった。

西川校長の挨拶は、子供たちは落ち着いているが、個別案件の課題が多いこと、大雨対応のこと、子供主体で運営を行う150周年記念の会にしていくことの確認等だった。

○第1回会議録の確認（太田会長）

太田会長の進行のもと、第1回会議の議事内容を確認した。

学校運営構想、学校の現状の記録、授業参観の感想を読み上げ、委員全員で確認をし、異議なく承認された。

(1) 熟 議 14:20~15:50

議長は、出席した委員の互選により選出し、会長が渡邊委員を指名した。

① 授業参観から

・5・6年生は自分たちの存在価値の意識が有る。3・4年生は授業態度、元気が良かった。外（プール）から元気な声が聞こえ、室内はおとなしい雰囲気だった。

（渡邊委員）

・落ち着いた状況だった。1年生のスクリーンを見て声を揃えての授業は学びにつながる。高学年のテーマに向けてチームで取り組む授業は、落ち着いていた。

（太田委員）

・1年生は昨年より落ち着いていた。学級に入れるように個人指導する担任の姿を間近で見ると負担を感じた。

（伊藤委員）

- ・1年生の学級人数が適性なので、この規模を今後も希望したい。子供とのアイコンタクトに努めた振り返りの授業はいい。タブレットの活用は効果的だった。(平野委員)
- ・調理室では、机を広く使うように、余計な物は片付けていた。一方、理科室では、子供の椅子の上で立て膝をしており危険。安全面の配慮が必要だと思った。(森田委員)
- ・1年生の声を揃えた学びの姿勢は生き生きしていた。6年生は同じ方向で授業。先日スポーツフェスティバルで応援する子供の姿に感動した。(鈴木委員)
- ・活気のある教育活動の姿を見た。道具や余分な椅子、安全に学ぶ作業環境を整える人材が必要で、担任は授業に専念してほしい。図工・家庭科・体育には専門の支援者が必要。発達・情緒学級への環境整備を期待する。(竹内委員)
- ・全体的に座ってられる子が多い。専門的知識をもつ補助員の必要性が有る。見守りの父兄を依頼する必要がある。(北野谷オブザーバー)
- ・タブレット、パソコンの扱い方がスムーズでよく活用されている。(椛オブザーバー)
- ・地域の人へのバックアップを期待し、気軽に来校してもらえるようにしていきたい。(町田学校支援コーデ)
- ・ボランティアの必要性については担任から声を掛けてほしい。調理実習と家庭科ミシン等の授業をきっかけとして、学校に来てもらう機会を増やしてほしいとの意見が、委員から数多く出された。

②「スタート」ステージの検証と今後の取組

1) 報告(教務)

渡邊議長の指示により、教務から具体的な説明があった。

「やさしい子」「かしこい子」「たくましい子」各部の「スタート期の成果と課題」「チャレンジ期の取組と共通理解事項」について、別添の資料に基づき説明があった。このことを委員全員で確認し、異議なく承認された。

2) 今後の取組に対する御意見

「子供自身の意見が、どのように反映されているのか?」の質問に、子供の意見、感想を生かしており、学習、行事、生活に反映しているとの回答があった。また、「今、自分たちはどうなんだ?」と質問し、子供の意思と希望を入れていってくださることを期待したいとの意見があった。学校からは、ステージ制の実践により、子供たちの成長を支えていきたいとの回答があった。このことを委員全員で確認し、異議なく承認された。

③児童の様子と今後の地域との連携についての検討

1) 児童の様子と各教科、総合的な学習等における学習ボランティアの要望

渡邊議長の指示により、学年主任から児童の様子と今後の地域との連携について、別添の資料に基づき具体的な説明があった。

各学年・学級では、発達と成長に沿った指導を行っている。また、教材研究と指導の工夫に力を注いでいる。特に子供同士の育ち合い、読書力の定着、医療と療育との連携を生かした指導、ふわふわ言葉とちくちく言葉を意識した言葉遣いの指導、2分前行動、低学年の見本となる高学年の意識の高揚、やまびこ挨拶、当たり前が当たり前になる指導、ほめほめ大作戦、学級の為に働く子供の育成を意識している。活字と計算の苦手な子供が多いが、成功体験の積み上げを目標にしたい等の説明があった。

2) 意見交換

委員から、以下のような意見が出た。

- ・学習ボランティアの募集は、授業内容と日時、人数等を知らせてほしい。
子供と一緒に安全に楽しく活動してほしい。
- ・子供に地域への愛着を育てたい。
- ・子供の興味を受け止めて、地域の当たり前を見直すことで、地域の良さの再発見ができるのではないか。
- ・学習ボランティアの募集は、実現できそうだ。
- ・学校側からは、支援員が午前勤務なので、午後の付き添いを希望している。
- ・協働センター開催のけん玉教室の先生の依頼はどうだろうか？
- ・町おこしボランティアは史跡巡りの中で、検討ができると思う。
- ・社会福祉協議会との連携を考えるのはいかがだろうか？
これらの意見を委員全員で確認し、今後、学校支援コーディネーターを仲立ちとしながら進めていくことが承認された。

11 連絡事項 15:50~16:00

(1) 第3回 学校運営協議会 (10/28 (土) について (教務))

- ・午前の授業参観は、できる範囲で出席をお願いしたい。
- ・午後の運営協議会は、原則、出席をお願いしたい。
- ・案内通知は、さくら連絡網で発信する。

(2) 熟議チェックシートについて (教頭)

- ・別紙の熟議チェックシートに本日の熟議を振り返ってご記入をお願いしたい。

(3) その他

- ・別紙「これからのコミュニティ・スクール」茨城県の案内の紹介。茨城県庁での開催 (7/15) の案内が紹介された。